

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院放射線治療科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2021年4月1日 ～ 2023年4月30日の間に、乳がんのために虎の門病院放射線治療科に入院・通院し、放射線治療を受けられた方

【研究課題名】

体表面位置照合機構を使用した全乳房および胸壁に対する放射線治療の不確かさの評価に関する研究

【研究の目的・背景】

《目的》

体表面位置照合機構を使用した全乳房および胸壁に対する放射線治療の不確かさを評価すること

《研究に至る背景》

全乳房および胸壁に対する放射線治療では、正確に放射線を照射するために、従来、治療室内でX線画像やCT画像を取得して位置照合をしていました。しかしこの照合撮影は放射線被曝が伴うことが課題でした。当院の放射線治療室で使用している体表面位置照合機構は物体表面の空間座標を被曝なしに取得が可能であり、放射線照射の位置精度が保証できます。一方でこの機構は観察範囲が制限される課題が知られており、先行研究では補助具を使用し患者を頭側挙上体位にすることで観察範囲が改善すると報告されています。そこで補助具を使用した際の体表面位置照合機構の視野改善効果を定量し、放射線治療時の位置精度と照射精度の不確かさを評価する研究を行います。この研究により観察範囲が広がり照射精度の不確かさが評価できることになり、精度の高い放射線治療を患者に提供することにつながります。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2023年6月22日 ～ 2024年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院放射線治療科、小塚拓洋のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： CT 画像、輪郭情報、線量分布情報など

【虎の門病院における研究責任者】

放射線治療科 ・ 小塚拓洋

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023 年 10 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 放射線部 ・ 鈴木健太郎

電話 03-3588-1111(代表)